

2026（令和8）年度神奈川県立保健福祉大学大学院  
保健福祉学研究科保健福祉学専攻博士前期課程 入学試験

筆記試験  
問題用紙

- ① 指示があるまでは中を見てはいけません。
- ② 自分の志望する領域の問題の指示に従って解答してください。
- ③ 解答用紙すべてに、志望領域、受験番号、氏名、解答する問題番号（例：栄—1—（1））を必ず記入してください。
- ④ 解答は問題番号ごとに別々の解答用紙に記入してください。

【栄養領域】

## 【栄養領域】

受験者は全員、問題（栄－1）と問題（栄－2）に解答しなさい。

### 問題（栄－1）

次の(1)～(10)から2問選び、解答しなさい。

- (1) 令和5年に医療法施行規則の一部が改正され、「医療従事者の職種として厚生労働大臣が定めるもの」に、管理栄養士・栄養士が追加された。また、チーム医療とは、「医療に従事する多種多様なスタッフが、各々の高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供すること」と示されている（チーム医療の推進に関する検討会報告書、平成22年3月）。これを踏まえ、あなたの栄養管理の実践フィールドを明確にした上で、チームアプローチの重要性と管理栄養士の役割について、あなたの考えを述べなさい。
- (2) 食品の衛生状態を評価する微生物学的指標を2つあげ、それぞれの定義と、その指標の値が高い場合に示唆される衛生上のリスクについて述べなさい。
- (3) 脂肪酸は、構造上の違いから飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸に分類される。それぞれの脂肪酸の構造的特徴と、健康への影響について述べなさい。また、現代人における $\omega$ -6系脂肪酸と $\omega$ -3系脂肪酸の摂取バランスに関する課題について説明しなさい。
- (4) 研究デザインによるエビデンスレベルの比較に関する問題である。ある栄養介入の効果を一次報告（Primary Report）から評価することを想定し、下記の研究手法A～Dについて、因果関係を検証する能力が低い順番\*を記載するとともに、それぞれの研究デザイン上の欠点を述べなさい。

研究手法 A : Prospective Cohort Study（前向きコホート研究）

研究手法 B : Before-After Study（前後比較研究）

研究手法 C : Randomized Controlled Trial（ランダム化比較試験）

研究手法 D : Case-Control Study（症例対照研究）

\*判断基準は、米国の Academy of Nutrition and Dietetics「Evidence Analysis Manual（2022年）」に基づくものとする。

- (5) 相対的エネルギー不足「REDs」に関する国際オリンピック委員会の2023年コンセンサスステートメントに関する以下の問い合わせに答えなさい。
- ① REDs の概要について、2023年における主な更新点を含めて説明しなさい。
- ② 管理栄養士の立場からこの知見を健康支援にどのように活用すべきと考えるか、一般成人または児童・生徒のいずれかを選択し、具体的な対象や場面を想定して述べなさい。
- (6) 学校における食に関する個別的な相談指導について、「食に関する指導の手引－第二次改訂版－（文部科学省）」に記載されている流れに基づいて説明しなさい。また、肥満の改善を目的として、児童・生徒に個別的な相談指導を実施する場合の留意点について、あなたの考えを述べなさい。
- (7) ① 近年、世界標準の低栄養の診断ツールとして GLIM (Global Leadership Initiative on Malnutrition) 基準が提唱され、本邦でも臨床現場での運用が推進されている。その評価項目は表現型3項目と病因2項目、合計5項目により構成されている。それら5項目を全て記載しなさい。
- ② GLIM 基準による低栄養診断を病院で新たに導入・運用するには、定められた5項目を正確に評価する必要がある。しかし、患者の状態や病院の体制によっては、その評価が困難な場合もある。GLIM 基準5項目の中で、あなたが最も評価が難しいと考える項目を1つあげ、それを正確に評価するための対策について述べなさい。
- (8) 低栄養高齢者（BMI18.5未満）に対する、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチについて、それぞれの留意点と対策を述べなさい。
- (9) 給食で使用する食材を購入する際の契約方式はいくつか種類があり、購入する食材の性質を考慮して契約方式を決定する必要がある。それら契約方式のうち、随意契約方式と一般競争入札方式の特徴について述べなさい。
- (10) 日本スポーツ協会は、「サプリメントの利用・活用コンセンサス2024」を発表している。このコンセンサスでは、「サプリメントとは、栄養素・栄養成分を直接摂取できる製品と、栄養素・栄養成分を強化・添加した食品である。」と定義している。この定義を参考に、サプリメントの利用・活用に関する指導法について、あなたの考えをアスリートと一般の人に分けて述べなさい。

問題（栄－2）

下記の英文を読み、各設問の指示に従って（1）～（5）に解答しなさい。

（著作権の関係で、問題文の掲載を省略）

出典： G. Britton and F. Khachik (2009) Chapter 3: Carotenoid in Food. In G. Britton, S. Liaaen-Jensen, H. Pfander (Eds.), *Carotenoids Volume 5: Nutrition and Health* (pp. 53-54). Basel: Birkhäuser Verl

- （1）[A]、[B]に挿入するのに適切な語句を英単語で解答しなさい。
- （2）**poultry**と同義の英単語を文章中から抜き書きして解答しなさい。
- （3）採卵用の鶏の飼料に添加されているのは、何を原料とする天然着色料なのかについて、文章中に使われている英語（2単語）で解答しなさい。
- （4）卵黄の色調に強く関与するルテインは、牛乳にはほとんど含まれていない。その理由を日本語で簡潔に述べなさい。
- （5）下線部の英文全文を日本語に訳しなさい。文字数は300字以内とする（句読点も1字に数える）。なお、二か所の[C]には共通して、水産物に含まれるある代表的なカロテノイド名が入るが、わからなければ[C]のままとして解答し、わかる場合は日本語（カタカナ）にして解答しなさい。